第三者評価結果報告書

	総括 Manage Manage Mana						
対象事業所名	アスクいどがや保育園						
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス						
対象サービス	認可保育所						
事業所住所等	〒232-0053 横浜市南区井土ヶ谷下町214-5 2F						
設立年月日	平成23年4月1日						
評価実施期間	平成27年12月 ~ 平成28年6月						
公表年月	平成28年 8月						
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部						
評価項目	横浜市版						

総合評価(優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等)

【施設の立地・特徴】

・立地および施設の概要

アスクいどがや保育園は平成23年4月1日に開園した5年目の園です。O~5歳児を対象として定員9O名のところ、現在99名が在籍しています。

京浜急行井土ヶ谷駅から徒歩1分の、2階建ビル(1階はドラッグストア)の2階を保育室、屋上を園庭として使用しています。交通量の多い道路に面していますが、園内は、騒音もなく落ち着いた環境となっています。

• 特徴

園目標は「あかるいえがお」「やさしいこころ」としています。子どもの生きる力の基本となるよう子どもにあった保育を心がけ、園庭での砂遊び、公園への散歩、季節に合わせた行事に取り組んでいます。また、専門講師による体操・リトミック・英語教室の保育プログラムや月1回クッキング保育を行っています。

【特に優れていると思われる点】

1 熱心な園外活動への取り組み

昨年、第三者評価を受けて課題となった「運動能力を高め、自然との触れ合いが多くできる環境づくりの検討」を踏まえて、天気の良い日は積極的に園外活動を行っています。近隣のさまざまな公園や大岡川方面に出かけて、身体を使った遊びを楽しんだり、自然に触れて虫や植物の観察をしています。また、地域で開催される「みなっち杯えきでん」に幼児クラスが参加したり、近隣の保育園と公園で待ち合わせて歌やゲームをして交流を持つなど、自然や地域を知り、他園との交流を深めています。まとまった時間が取りにくい日は、園周辺を一巡するなどの努力をしています。

屋上園庭ではプランターで二十日大根やオクラ、人参の栽培を楽しんだり、砂遊びや年齢に応じた遊 具を用いて遊び、活動の切れ目や夕方も、園庭で遊ぶ時間を持つ工夫をしています。

2 わかりやすく工夫されたクラスノート

幼児クラスでは、クラスノートに1日の保育の様子を書き込み、保育室入口に置いています。クラスノートはトピックスをカラフルな色使い、デザイン性のある字体などを用い、お迎えの慌ただしい時間の中でも、職員から伝えたい内容、子どもの様子が保護者に分りやすく伝わるように工夫しています。

3 職員の連携と協力体制

昨年に引き続き主任不在の体制ですが、園長とリーダー職員2名が主任業務を分担し、職員会議や昼礼

で業務内容や課題について話し合い、全職員に周知徹底を図っています。また、経験豊かな非常勤職員も多い中、職員同士で声をかけ合い、チームを組んで積極的に保育活動にあたっています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1 地域への子育て支援サービス

今年度、園では入園希望者からのアンケートや南区園長会議などから、一時保育、体験入園希望など、 地域のニーズの把握は行いましたが、園の専門性を活かしたサービスの提供には至っていません。地域 のニーズに則したサービス提供のための具体的な検討が期待されます。

2 要望・苦情の記録化

日常寄せられる意見や要望、苦情などについては、全職員に周知し、対策を講じていますが、記録が確認できませんでした。日常寄せられる細かな要望・意見なども記録に残し、蓄積・整理して、解決に活かすことが期待されます。

3 保護者へ向けて園の取り組みのさらなるアピール

今年度、園外活動に積極的に取り組んできましたが、保護者アンケートでは「子どもが戸外遊びを十分しているか」について、「どちらかと言えば不満」「不満」の合計が19パーセント、「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動」については、「どちらかと言えば不満」「不満」の合計が26パーセントとなっています。園外活動や戸外活動の意図やねらいを職員間で確認し合い、保護者に活動の取り組みを理解してもらえるよう、さらなる伝達方法の工夫や口頭によるコミュニケーションの充実が期待されます。

評価領域ごとの特記事項

- ・設置法人統一の運営理念は「安心・安全を第一に」「お子様にとっていつまでも想い出に残る保育を」「利用者のニーズに合った保育サービスを」「職員が楽しく働けること」、保育の基本方針は「子どもの自ら伸びようとする力」「後伸びする力」を育てる保育を、子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす「五感で感じる保育」の充実を、園目標は「あかるいえがお」「やさしいこころ」として、子どもを尊重したものとなっています。
- ・子どもの気持ちに寄り添い関わることを心がけ、子どもが落ち着いて気持ちが伝えられるようにしています。子どもの人権を尊重することの大切さ、職員の子どもへの態度や言葉遣いについて、職員会議などで気づいたことを話し合っています。

1.人権の尊重

- ・設置法人作成の「個人情報保護マニュアル」があり、職員は入社時に守秘義務の 意義や目的についての研修を受け、個人情報守秘義務遵守の誓約書を提出していま す。
- ・個人情報の取り扱いについて、入園時に重要事項説明書により保護者に説明しています。ホームページの子どもの写真掲載や、子どもの様子を写真に撮り園内掲示をする場合などの可否については、入園時に書面で確認しています。
- ・設置法人の保育園業務マニュアル内に性差による区別をしないことを明記し、職員は入社時研修を受けています。職員は、遊びや行事の配役などを決める時、子どもたちの希望や意見を尊重して対応しています。
- ・トイレを失敗した子どもに対しては、他の子に気づかれないように着替えを行う など、子どもの気持ちを傷つけないように対応することを全職員は周知していま す。

- ・保育課程は、保育理念・保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義 に作成しています。保育課程に基づき、年齢ごとにクラス担当職員が話し合って指 導計画を作成しています。O~2歳児には個別指導計画を作成しています。幼児で も、障がいや見守りが必要な場合はケース記録を記し、特別な課題がある場合には 個別指導計画を作成しています。
- ・指導計画はクラス担任間で話し合って作成し、評価・反省・見直しを行い、職員 会議などで確認し合って次月につなげています。評価、改訂にあたっては、送迎時 の保護者との会話、懇談会、個人面談、連絡ノートなどで意向を確認しています。 離乳食や排泄、食物アレルギー対応など、発達状況に応じて、保護者の意向を評価、 改訂に反映させています。
- 保育室には、敷物や手作りの低い仕切り、机を利用して、ままごとコーナーや絵 本のコーナー、玩具で遊ぶコーナーを設けて小集団で遊べるよう工夫し、静と動の 動きに合わせた環境を作っています。
- 園庭のプランターで野菜を種から育て、収穫を体験しています。カブトムシは幼 虫から飼育し、公園では小さな虫などを探しています。保育室には図鑑や生き物の 絵本を備え、子どもたちは生き物を大切にする気持ちや命の大切さを自然に学んで います。

立生活への支援に 供

- 天気の良い日は、散歩、園庭遊びを行い、消防署の見学や商店に行っています。 2. **意向の尊重と自** アスレチック広場や公園など、年齢や目的に応じて選んでいます。
- **向けたサービス提 ⋅3~5歳児クラスを縦割りの3グループに分けて遊んだり、給食を食べるなど異年** 齢の活動をしています。また、活動内容や生活時間帯によって異年齢で散歩や公園 に出かけ、子ども同士が関わりあい、育ち合えるようにしています。
 - ・リトミックや体操教室は1歳児から、発達段階に合わせて行っています。
 - ・食事は、盛り付け量を調整するなど個々に対応し、食べられた時はほめています。 スプーン、フォーク、箸は子どもの発達状況に合わせて対応しています。乳児は、 手づかみで食べても自分で食べようとする意欲を大切にしています。2歳児はトウ モロコシの皮むき、小松菜ちぎりなど調理室の手伝いを、3歳児からクッキングを 行い、当番やクッキング保育を通して食への興味・関心を育んでいます。
 - 午睡は、眠れなくても静かに体を休ませる時間と考え、絵本を読んだり、体をや さしくなでたりして落ち着いて過ごせるよう配慮しています。乳幼児突然死症候群 を防ぐために呼吸チェックを行い、生活・睡眠記録簿に記入しています。5歳児ク ラスは、就学に向けて秋ごろから午睡時間を短くし、年明けからは無くしています。
 - トイレットトレーニングは保護者と相談しながら、子どもの発達状況に応じて、 一人一人の排泄間隔を把握して対応しています。
 - ・遠足で、横浜動物園ズーラシアや野毛山動物園、横浜・八景島シーパラダイスな どに行っています。年長児は近隣の保育園と公園で待ち合わせ、歌やゲームをして 年3、4回交流したり、4、5歳児が南区の「みなっち杯えきでん」に参加していま す。

3.サービスマネジ |・ならし保育については入園前説明会で、保護者に説明しています。保護者同伴で

確立

- メントシステムの一週間程度を予定し、保護者の都合にも配慮しながら、保育園で過ごす時間を徐々 にのばしています。
 - •「児童票」「面談シート」「健康調査票」を個人別ファイルにしています。毎月の 身長・体重測定の記録や健診結果を「健康記録票」に記載しています。発達の記録 は、乳児は毎月、幼児は3か月ごとに文章にまとめ、ファイルに綴じ込んでいます。 個別ファイルは事務室の鍵付き書庫に保管し、職員は必要時いつでも確認できま す。
 - ●○~2歳児は個別の「保育連絡ノート」に家庭での様子を記入してもらい、園で の活動の様子を記載して保護者に伝えています。3歳児以上はクラスノートを用い て、カラフルな色使い、デザイン性のある字体などに工夫を凝らし、職員から伝え たい内容、子どもの様子が保護者に伝わるようにしています。
 - ・年3回のクラス懇談会では、担任が保育の内容や日常の様子などを伝えています。 個人面談は年2回、2週間の期間で保護者の希望に応えられるよう日程調整をして います。個人面談期間以外でも、保護者の要望に合わせて面談を行っています。
 - ・食物アレルギーや特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。配慮が 必要なケースについては、横浜市中部地域療育センターの巡回相談、設置法人の発 達支援チームの巡回相談時のケース会議、職員会議で、報告検討し記録に残してい ます。日常の様子は、昼礼でも職員に周知しています。
 - ・虐待防止マニュアルがあり、職員は設置法人の研修を受講し、定義が全職員に周 知されています。虐待が明白になった場合は、設置法人、南区こども家庭支援課、 横浜市中央児童相談所に通告・相談する体制となっています。
 - •「入園のご案内」(重要事項説明書)に第三者委員と南区こども家庭支援課連絡先 を記載し、入園説明会で苦情受け付けの仕組みを保護者に説明しています。園の掲 示板に、「苦情解決のフローチャート」、「横浜市福祉調整委員会」のポスター、南 区の行政機関、関連機関の連絡先リストを掲示しています。
 - 健康管理、衛生管理、安全管理に関する各マニュアルを整備し、マニュアルに基 づいた対応や訓練、内部研修を行っています。
 - •「見学者アンケート」実施をし、園長が南区の園長会、幼保小連携会議に出席し、 地域のニーズを把握していますが、今年度は園の専門性を活かすための話し合いや サービス提供には至っていません。ニーズに則したサービスの提供のための改善・ 検討が期待されます。

4.地域との交流・連 携

- 日常的に近隣の公園に出かけ、出会う人に挨拶しています。消防署を訪問し、消 防自動車に乗せてもらうこともあります。高齢者施設と定期的に交流しています。 年長児が、近隣の保育園と公園で待ち合わせ、歌やゲームをして年3、4回交流し ています。また4、5歳児が南区の「みなっち杯えきでん」に参加しています。
- 利用希望者への問い合わせは随時対応し、見学は、可能な限り利用希望者の都合 に合わせています。一回に2名までとし、ゆっくり見学と説明ができるようにして います。
- ・ボランティアについては、まだ実績がありません。地域とのつながりが増え、子

どもたちの視野も広がることから、ボランティアの受け入れの機会が増えることが 期待されます。

- 園の情報は設置法人のホームページで経営・運営状況を公開しています。また、 「子育て支援情報サービスかながわ」にも園の情報を載せています。園のパンフレ ットは南区こども家庭支援課に置いています。
- 年度初め職員会議で理念、基本方針に基づいた保育について確認し合い、保育課 程と年間指導計画を全職員で確認・周知しています。保護者には入園説明会やクラ ス懇談会、園だより、クラスだよりで周知しています。

5.運営上の透明性 の確保と継続性

- 設置法人は「保育園業務マニュアル」「就業規則」に職員の守るべき倫理、服務 規程を明文化し、入社時研修で職員に周知しています。倫理、規程が書かれた 「CREDO」カードを全職員に配付し、職員は折りに触れ、読み直すように心がけ ています。設置法人にコンプライアンス委員会を設置し、不正があった場合の連絡 先などを更衣室に掲示し、直接通報できる仕組みを職員に周知しています。
- ゴミ減量化、リサイクル分別を行い、プラスチックトレイ、牛乳パックやトイレ ットペーパーの芯などを手作りおもちゃや製作に利用しています。節電、節水に努 めています。
- 事業運営に影響のある情報は設置法人で収集・分析をしています。園では、園長 が設置法人の園長会議、南区園長会議や、行政機関から情報を収集し、重要な情報 は職員会議で報告しています。改善課題については、職員会議などで話し合い、保 育所全体の取り組みとしています。
- ・人材育成については、経験年数に応じた設置法人の階層別研修が用意されていま。 す。職員は「個人別年間研修計画」を作成し、半期ごとに評価・反省をしています。 園長は職員の個別面談で目標の達成度を把握し、研修成果について達成度を評価 し、必要な研修の見直しを行っています。

の促進

- ・設置法人が年間研修計画を作成し、常勤職員、非常勤職員が参加できる体制とな っています。研修受講後はレポートを提出し、職員会議で報告をしています。園内 6.職員の資質向上 研修として、「熱性けいれんとダイアップについて」「嘔吐処理」などをテーマに行 い、非常勤職員も参加しています。
 - ・年間指導計画、月案、週案にそれぞれ評価・反省の欄があり、定型化された書式 となっています。子どもの育ちや意欲、活動への取り組みを重視して振り返りを行 っています。
 - ・ 職員は年2回実施の自己査定の中で自己評価を行い、毎年受審する福祉サービス 第三者評価の評価基準に沿って自己評価を行っています。

評価機関による評価

3つ:高い水準にある、2つ:一定の水準にある、1つ:改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類

課程等の作成





評価の理由(コメント)

- I-1 保育方針の共通理解と保育・設置法人統一の運営理念は「安心・安全を第一に」「お子様にとっ ていつまでも想い出に残る保育を」「利用者のニーズに合った保育 サービスを提供」「職員が楽しく働けること」、保育の基本方針は 「子どもの自ら伸びようとする力」「後伸びする力」を育てる保育 を、子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす「五感で感じる保 育」の充実を、園目標は「あかるいえがお」「やさしいこころ」とし て、子どもを尊重したものとなっています。
 - ・運営理念は玄関受付前、園目標は玄関ホール掲示板に掲示してあり ます。職員は入職時に、設置法人研修で基本方針を学んでいます。園 では、職員会議や昼のミーティング、日常業務の中で全職員が確認し 合っています。
 - ・保育課程は、保育理念・保育の基本方針に基づき、子どもの最善の 利益を第一義に作成しています。家庭の状況、地域の実態や環境を考 慮して、長時間保育、延長保育、地域支援や身近な自然、高齢者施設 との関わりなどを盛り込んでいます。
 - ・保育課程に基づき、年齢ごとにクラス担当職員が話し合って指導計 画を作成しています。子どもの様子やクラスの状態をみながら、自由 遊びに何をしたいかや散歩の行先、散歩先で何をしたいかなど子ども の意見を取り入れ、自主性や主体性が育つように計画は柔軟性を持た せています。変更時は、昼のミーティング、事務室に掲示などで確認 しています。
 - ・必要なことは、わかりやすい言葉でゆっくりと説明し、次の予定を 前もって伝えています。時計の文字盤の数字で説明することもありま す。子どもに無理強いすることがないようにしています。

Ⅰ−2 子どもの発達や状況に応じ た適切な援助の実施



- ・入園前に保育職員が親子一緒の面接を行い、園長が保護者との関わり方や子どもの様子を観察しています。必要に応じ栄養士も面談を行っています。保護者に提出してもらった「入園時児童家庭調査票」「お子様の状況について」「児童健康調査票」と、面談時「入園前面談シート」をもとに生育歴、家庭状況などを把握して個別にファイルし、職員は情報を共有しています。
- ・入園前説明会でならし保育の必要性を保護者に説明しています。保護者同伴で一週間程度を予定し、保護者の都合にも配慮しながら、保育園で過ごす時間を徐々にのばしています。
- ・0、1歳新入園児については担当を決めて、個別対応を行っています。また、子どもが心理的よりどころとなるタオル類を持ち込むことができます。0~2歳児は個別の「保育連絡ノート」に家庭での様子を記入してもらい、園での活動の様子を記載して保護者に伝えています。在園児については、環境の変化による不安に対し、スキンシップを多く取るように心がけ、3月下旬より進級するクラスの保育室で過ごすようにしています。
- ・年齢ごとの指導計画を作成しています。年間指導計画は4期に分けて期ごと、月間指導計画は1か月ごとにクラス担任間で話し合って作成し、評価・反省を行っています。指導計画は子どもの様子やクラスの状態を見ながら子どもの意見を取り入れ、自主性・主体性が育つように、計画には柔軟性を持たせています。評価、改訂にあたっては、送迎時の保護者との会話、懇談間、個人面談、連絡ノートなどで意向を確認し、離乳食や排せつ、食物アレルギー対応など、発達状況に応じて、保護者の意向を評価、改訂に反映させています。
- ・指導計画の評価、改訂については担任間で話し合い、昼のミーティング、職員会議で説明し確認しあっています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ・清掃マニュアルに沿って、チェック表を活用し、清掃担当職員が園内外の清掃を行っています。24時間換気システム、空気清浄機、加湿器があります。適宜窓を開放し空気の入れ替えを行っています。
- ・各保育室は独立しています。音楽や保育者の声が騒音にならないよう、職員間で気をつけています。
- ・沐浴設備があります。乳児用、幼児用の温水シャワー設備があり、 夏場汗をかいた時や、プール遊び後、下痢、おむつかぶれ時などに使 用しています。使用後に清掃するほか、毎日「衛生管理マニュアル」 に基づき、清掃・管理を行っています。
- ・保育室内で、食事の場、午睡の場と分けています。低年齢児クラスは、月齢や発達段階により、つかまり立ちの時期には低い棚、しきりなどを用意しています。衝立、机、敷物を利用し、小集団で過ごせるようにしたり、静と動の活動に応じてスペースを分けるなど使い方を工夫しています。

対応する努力



- **I-4 一人一人の子どもに個別に ・**毎月、3歳未満児の個別指導計画を作成しています。幼児でも、障 がいや見守りが必要なケースなど、特別な課題がある場合には個別指 導計画を作成しています。
 - ・個別の目標・計画はクラス担任で話し合い、毎月見直しています。 中部地域療育センターの巡回相談や設置法人の発達支援アドバイザー の巡回相談後のケース会議や、昼のミーティング・職員会議で子ども の状況などを話し合い、柔軟に計画を見直しています。
 - ・「児童票」「面談シート」「健康調査票」を個人別ファイルにして います。入園後の子どもの成長については、毎月の身長・体重測定の 記録や健診結果を「健康記録票」に記載しています。発達の記録は、 乳児は毎月、幼児は3か月ごとに文章にまとめ、ファイルに綴じ込ん でいます。個別ファイルは事務室の鍵付き書庫に保管し、職員は必要 時いつでも確認できます。
 - ・進級時には年度末に児童票を基に、クラス担任と次年度担任間で引 き継ぎをするほか、職員会議でも重要部分は把握するようにしていま す。「保育所児童保育要録」は就学予定小学校へ持参しています。

子どもへの取り組み



- **I-5 保育上、特に配慮を要する**・特に配慮が必要なケースについては、療育センターの巡回相談、設 置法人発達支援アドバイザー巡回相談時のケース会議、職員会議で、 報告検討し記録に残しています。日常の様子は、昼のミーティングで も周知しています。発達障がいや、気になる子への関わり方、アレル ギー対応などの研修に参加し、研修結果を職員会議で報告していま 。資料はファイルにして、誰でも見られるようにしています。
 - ・障がい児受け入れの場合には、障がいの特性を考慮した個別指導計 画を作っています。中部地域療育センターの巡回相談(年2回)、設 置法人の発達支援アドバイザー巡回(年3、4回)で助言や情報を得て います。保護者の意向や思いに配慮しながら関係機関等と連携を取っ ています。
 - ・虐待防止マニュアルがあります。設置法人の研修を受講し、定義が 全職員に周知されています。虐待が明白になった場合は、設置法人、 南区こども家庭支援課、横浜市中央児童相談所に通告・相談する体制 となっています。疑わしい場合や見守りが必要な場合には、職員会議 や昼のミーティングで全職員に報告し、子どもの様子や保護者の様子 を毎日観察し、保護者の心身の状態も把握するようにしています。南 区こども家庭支援課や民生委員、保健師と連携を取っています。
 - ・アレルギー疾患については、かかりつけ医の診断後の「保育所にお けるアレルギー疾患生活管理指導表」に基づいて対応しています。食 物アレルギーについては、保護者と栄養士が定期的に面談し、確認し て除去食を提供しています。名前入り色違いのトレイ、色違いのエプ ロン、各食器に名前を書いたラップ使用、提供時・配膳時に複数職員 が確認をしています。食事は個人用机を皆と離れた場所に用意し、職 員が付き添い、提供時間も早く行い誤食防止に努めています。
 - ・外国籍や帰国子女など文化の異なる子どもの受け入れ実績はありま せんが、意思疎通が困難な場合は、身振りを交えてゆっくり話した り、写真・絵などを使い、理解できるように工夫したり、保護者の知 人や友人、設置法人の英語スタッフに協力してもらう体制をとること ができます。

I-6 苦情解決体制



評価の理由 (コメント)

- ・要望・苦情受け付けは園長が担当し、入園説明会で保護者に説明しています。第三者委員と南区こども家庭支援課連絡先は保護者に配付の「入園のご案内(重要事項説明書)」に記載しています。園の掲示板に「苦情解決のフローチャート」を掲示しています。
- ・意見箱の設置、行事後アンケート、個人面談、クラス懇談会など意見や要望を聞く機会があります。園児からは、表情や態度・仕草から、さらに、保護者には送迎時に話しかけ、意思を汲み取るようにしています。
- ・「横浜市福祉調整委員会」のポスターを園内に掲示しています。南区の行政機関、関連機関の連絡先リストを玄関に掲示しています。
- ・業務マニュアルに「苦情解決に関する要綱」があり、職員に周知しています。園独自で解決困難な場合は、第三者委員も交え対応する仕組みとなっています。日常寄せられる意見については、全職員に周知し、対策を講じています。
- ・要望・苦情の記録が確認できませんでした。

<コメント・提言>

・苦情や日常寄せられる細かな要望・意見なども記録に残し、蓄積・ 整理して解決に活かすことが期待されます。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類

Ⅱ - 1 保育内容[遊び]



評価の理由 (コメント)

- ・各クラスとも、低い棚に絵本やおもちゃ、教材が置かれ、子どもたちが自ら手を伸ばして取り出しやすく、片付けやすいようにしています。おもちゃや絵本は子どもの発達や興味・関心、季節などに合わせて入れ替えています。
- ・保育室には、敷物や手作りの低い仕切り、机を利用してコーナーを設けたり、静と動の動きに合わせた環境を作っています。
- ・幼児クラスでは、子どもたちが好きな絵本をもとに生活発表会の出し物を決定し、ストーリーを発展させてセリフなどを話し合いながら決めています。野菜が苦手な子どもは野菜の役になって気持ちを考える、ダンスの振り付けについても子どもらしい発想を取り入れています。
- ・園庭のプランターで野菜を種から育てています。カブトムシは幼虫から飼育しています。公園では小さな虫などを探しています。保育室には図鑑や生き物の絵本を備え、子どもたちは生き物を大切にする気持ちや命の大切さを自然に学んでいます。
- ・散歩は、公園、近隣散策で消防署や商店(花屋、弁当屋)に行ったりしています。公園で落ち葉や木の実を拾い製作に活かすなど子どもたちが発見したものに対して職員は驚きや疑問を共感し、興味や関心が広がるようにしています。
- ・乳児のかみつきやひっかきは、子どもの様子を察知し未然に防ぐようにしています。幼児間のトラブルは危険のないように見守り、必要に応じて言葉を補ったり代弁するなどしながら、子ども同士で解決ができるよう援助しています。 ・3~5歳児クラスを3グループに分け、遊んだり、給食を食べたりと
- ・3~5歳児クラスを3グループに分け、遊んだり、給食を食べたりと 異年齢の活動をしています。その他にも活動内容や生活時間帯によっ て異年齢で散歩や公園に出かけるなど、子ども同士が関わりあい、育 ちあえるようにしています。
- ・天気の良い日は散歩、園庭遊びを行い、夕方も園庭で遊ぶことがあります。公園は、広場、アスレチック、公園までの距離など年齢や目的に応じて選んでいます。水やプールも夏季の遊びとして行っています
- ・リトミックや体操教室も1歳児クラスから発達段階に合わせ、内容を替えて行っています。

Ⅱ - 1 保育内容[生活]



- ・職員は子どもの様子を見ながら、盛り付けられた量を子どもに配膳する前に減らすなど個々に対応し、食べられた時はほめています。乳児はスプーンの使い方も伝えながら、手づかみで食べても自分で食べようとする意欲を大切にしています。
- ・2歳児クラスからあいさつの当番活動を、3歳児クラスから配膳の手伝いを、5歳児クラスは就学に向けて当番が盛り付けをしています。クッキングでは、2歳児クラスはトウモロコシの皮むき、小松菜ちぎりなど調理室の手伝いを、3歳児クラスから手巻きずし、ふりかけ、肉まん作りにも挑戦しています。当番やクッキング保育を通して、子どもたちは食への興味・関心を育んでいます。
- ・季節感を大切にして旬の食材を使用し、毎月、行事や季節に因んだメニューを取り入れ、彩りや盛り付けを工夫しています。栄養士が子どもの食べる様子を見回り、毎月の給食会議では、味付け、食材の切り方など子どもの嗜好を把握、確認し、献立や調理の工夫に活かしています。
- ・献立表は毎月末までに翌月分を保護者に配付することを心がけています。玄関に「今日の献立」、給食・おやつのサンプルを展示し、レシピを自由に持ち帰れるようにしています。
- ・保育参観(参加)時に希望者に幼児食を提供して、園での味付けや 食事内容、普段の子どもたちの食事の様子を知ってもらう機会として います。また、アンケートを行い保護者の食に関する意識を把握して います。
- ・午睡は、眠れなくても静かに体を休ませる時間と考え、絵本を読んだり、体をやさしくなでたりして落ち着いて過ごせるよう配慮しています。乳幼児突然死症候群を防ぐために呼吸チェックを行い、生活・睡眠記録簿に記入しています。5歳児は、就学に向けて秋ごろから午睡時間を短くし、年明けからは無くしています。
- ・トイレットトレーニングは保護者と相談しながら、個々の子どもの 発達状況に応じて、一人一人の排泄間隔を把握して対応しています。 また、おもらしをした時は、他の子に気づかれないように着替えを行 うなど、子どもの気持ちを傷つけないように対応することを全職員は 周知しています。

Ⅱ-2 健康管理·衛生管理·安 全管理[健康管理]



- ・健康管理に関するマニュアルに基づいて、子どもの健康に関する情報を入手し、年2回の健康診断、年1回の歯科健診、毎月身体測定を実施してファイルし、一人一人の健康状態を把握しています。朝の受け入れ時には保護者からの情報提供のほか検温や様子観察を行っています。
- ・入園時の面談から得られた情報をもとに、「児童健康調査票」にて 既往歴、体質、予防接種、かかりつけ医などを記録し、保管していま す。その後の変更があれば随時更新し、年度末に調査票を保護者に渡 し、情報を追記してもらうこととしています。
- ・2歳児クラスから毎食後歯磨きを行い、3歳児クラスまで職員が仕上 げ磨きを行っています。2歳児クラスは職員が手作りの歯磨き人形を 使い磨き方を毎日指導しています。他のクラスも子どもの磨き方を見 ながらその都度注意をしています。
- ・感染症対応マニュアルがあります。保護者には、配付している入園 のご案内(重要事項説明書)の中で「感染症について」の記載があ り、入園説明会で感染症の登園停止基準や保育中の発生時の対応につ いて保護者に説明しています。
- ・保育中に感染症が疑われた時は、保護者に連絡して医師への受診を 勧めています。保護者がすぐに迎えに来られない事情がある場合は、 事務室で子どもを休ませ見守っています。発生した時は、玄関にお知 らせ(病名・クラス)を掲示し全保護者へ伝えています。感染症の発 生状況を調査集計することにより感染症の蔓延と予防に役立てるシス テムである「感染症サーベイランス」を活用しています。

Ⅱ -- 2 健康管理・衛生管理・安 全管理[衛生管理]



- ・衛生管理マニュアルがあり、施設・設備・玩具などの清掃消毒方法 が明記されています。マニュアルは、年に一度職員の意見を集約して 園長会議に持ち寄り、設置法人で毎年定期的に見直しをしています。
- ・職員は入社時研修のほか、設置法人本部の階層別研修で行われる健康管理、感染症、発熱時の対応などについての研修に参加して、衛生面の管理について学んでいます。園内では昼のミーティングを利用してノロウイルスやインフルエンザなど厚生省のガイドラインに沿っているか確認をしています。
- ・マニュアルに基づいた清掃は、清掃専門の職員を中心に行い、清潔・適切な状態を保っています。夏の組み立て式プールの水は毎日入れ替えています。屋上園庭にある砂場を使用しない時はシートをかけていますが、砂の入れ替え、消毒は来年度を予定しています。

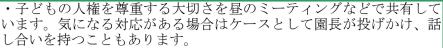
Ⅱ - 2 健康管理・衛生管理・安 全管理[安全管理]

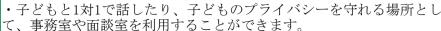


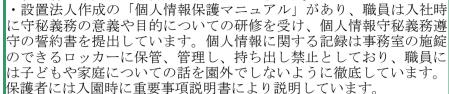
- ・「安全管理マニュアル」に基づいて安全を確認し、保育室の倒れや すいカラーボックスなどはネジで固定をしたり横向きに置く、高さの ある家具は突っ張り棒を使うなど転倒防止などの安全対策を講じてい ます。
- ・緊急時の保護者連絡は一斉メール送信、NTT災害用伝言ダイヤルサービス171を利用することとして、利用方法を重要事項説明書に明記しています。
- ・毎月、地震・火事・津波・不審者対応など想定を変えた避難誘導訓 練を行っています。
- ・子どものケガは、軽傷であっても必ず園長に報告し、保育日誌や保健日誌に記載するとともに、担任伝言表にてお迎え時に保護者に伝えています。ランチミーティングや職員会議で報告・情報共有し、再発防止策を検討して改善を図っています。
- ・玄関はオートロック式になっており、関係者以外はインターホンで職員が確認してから解錠しています。電子錠に不具合が生じた場合は直ちに修繕をしています。警備会社と契約しており、緊急時に駆けつける仕組みを取り入れています。

評価の理由(コメント)

Ⅱ-3 人権の尊重





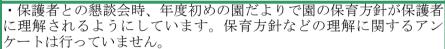


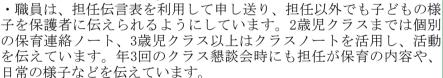
・設置法人の保育園業務マニュアル内に性差による区別をしないことと明記され、入社時研修を受けています。職員は、遊びや行事の配役などについて、子どもたちの希望や意見を尊重して対応しています。母の日、父の日でなく、6月の初旬に「ファミリーデー」を行っています。

<コメント・提言>

- ・職員の子どもへの態度や言葉遣いについて、職員会議などで気づいたことを話し合っています。今後も継続されることが期待されます。
- ・保育室内に、職員の目が届きながら子どもが一人になれる場所の設置が期待されます。







- ・個人面談は年2回、2週間の期間で保護者の希望に応えられるよう日 程調整をしています。個人面談期間以外でも、保護者の要望に合わせ て面談を行っています。
- ・4月に年間行事予定表を配付し、保護者が行事参加などによる予定を立てやすくしています。保育参観、参加は年2回あり、乳児は保育参観のみですが、幼児は絵本の読み聞かせや、散歩など保育参加を楽しむ保護者もいます。懇談会に参加できなった保護者へは、懇談会記録を渡し、口頭でも説明しています。玄関に懇談会の内容の掲示をしています。
- ・保護者有志グループとコミュニケーションを図りながら園行事の準 備、後片付け作業を行っています。

<工夫している事項>

・クラスノートは、カラフルな色使い、デザイン性のある字体など、 お迎えの慌ただしい時間の中でも職員から伝えたい内容、子どもの様 子が保護者に簡潔に伝わるように工夫がされています。

<コメント・提言>

・保護者間の自主的な集まりはありますが、今後保護者会組織として機能されることが期待されます。



評価領域皿 地域支援機能

半1111111111111111111111111111111111111	
評価分類	評価の理由(コメント)
て支援サービスの提供	・今年度園見学対応が48件あり、「見学者アンケート」に記載をお願いしています。「あったらいいなと思うサービスは」という項目に、一時保育、布おむつ保育、体験入園など記載があり、地域のニーズを把握しています。 ・園長が南区の園長会、幼保小連携会議に出席し、意見や情報交換をしています。 <コメント・提言> ・地域の子育て中の保護者に対して育児相談等の相談事業の取り組みがあることを伝え、地域の子育てニーズを把握することが期待されます。さらに、把握した子育て支援ニーズを職員間で話し合い、ニーズに応じたサービスの提供が期待されます。
相談機能	・園見学者に随時情報提供しています。昨年度までは、近隣のスーパーや町内会の掲示板に運動会のポスターを掲示して情報提供していましたが、今年度は行っていません。 ・育児相談は、毎週水曜日の午前中で対応することを門扉に掲示していますが、相談実績はありません。 ・相談があった場合の各関係機関への連絡担当者は、園長としています。南区こども家庭支援課、地域の医療機関、中部地域療育センター、消防、警察など関係機関の社会資源一覧と関係機関の情報を事務室や玄関の見やすい場所に掲示し、情報を活用して積極的な連携を図るよう努めています。 <コメント・提言> ・地域の協力を得て、園の情報提供に努めるとともに、保育園の専門性を活かして育児相談や育児支援ニュースなどの発行が期待されます。

ミュニティへの働きかけ





評価の理由(コメント)

- **Ⅳ-1 保育所の地域開放・地域コ**・園行事の夏祭りに1階店舗ドラッグストアと近隣の花屋を招待して います。また、卒園児にも参加を呼び掛けています。
 - ・近隣の小学校の体育館を借りて園の運動会を行っています。また、 年長児が小学校入学を前に、給食を食べる体験をしたり、「小学校と のふれあい」事業で6年生の出し物を見学に行くなどの交流を図って
 - ・自治会には入会していますが、地域の団体や機関との定期的な交流 は行っていません。地域への施設開放、備品貸し出しなども行ってい
 - ・遠足で、ズーラシアや野毛山動物園、シーパラダイスなどに行って います。散歩で近隣の公園に出かけ、出会う人と挨拶を交わしていま す。公園では、園児も一緒にお菓子の袋などのゴミ拾いを行っていま 。また、消防署を訪問して消防自動車に乗せてもらっています。年 長児はお泊り保育の夕飯の材料を近くのスーパーに買いに行くなど、 交流を図っています。
 - ・近くの高齢者施設と定期的に交流したり、近隣の保育園の年長児と 公園で待ち合わせ、歌やゲームをして年3,4回交流しています。4、5 歳児が南区の「みなっちえきでん大会」に参加したり、防災訓練の-環で、清水ヶ丘公園に来ていたヘリコプターの見学に行きました。
 - ・玄関ホールに、「小学校子育て支援」「幼保小連携だより」「子育 て支援」などのファイルを置いたり、地域の行事案内のちらしを掲示 し、参加できるようにしています。

<コメント・提言>

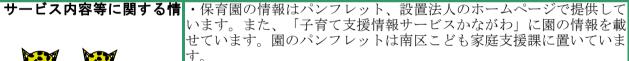
・地域との良好な関係を構築するための、地域の団体、関係機関など との定期的な交流や地域の人達への施設開放・備品貸し出しなどの検 討が望まれます。

W - 2 報提供









- ・利用希望者への問い合わせには、園長または事務職員が対応し、見 学もできることを伝えています。
- ・見学は、可能な限り利用希望者の都合に合わせていますが、一回に 付き2名までとし、ゆっくり見学と説明ができるようにしています。

IV - 3入れ





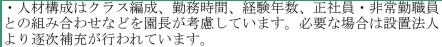
- **ボランティア・実習の受け**・ボランティア受け入れマニュアルがあります。受け入れと育成の担 当者は園長としていますが受け入れの実績はありません。
 - ・実習生受け入れマニュアルがあります。受け入れ時、職員には会議 等で周知し、保護者には掲示して知らせています。受け入れ担当は園 長とし、受け入れ時の記録を整備しています。
 - ・受け入れの際、実習生の希望や目的、実習経験に応じたプログラム を工夫しています。実習生、担当職員と実習に入ったクラス担当職員 とで毎日反省会を行っています。意見交換や質問に対応するととも に、記録類、計画案などの指導を行っています。

<コメント・提言>

・地域とのつながりが増し、子どもたちの視野も広がることから、ボ ランティアの積極的な受け入れが期待されます。

評価の理由(コメント)

Ⅴ-1 職員の人材育成





- ・人材育成については、経験年数に応じた設置法人の階層別研修が用 意されています。年に2回の「自己査定」では「自己査定シート」に 新人・中堅・主任・園長ごとに、経験や習熟度に応じた努力目標が明 記されています。
- ・設置法人が年間研修計画を作成し、職員は「個人別年間研修計画」 を立てています。研修受講後はレポートを提出し、職員会議で報告と 説明をしています。資料は回覧できるようにし、園内研修に応用でき るようにしています。
- ・非常勤職員も常勤職員と同じ業務マニュアルを使用し、経験年数、 勤務時間などを考慮して、組み合わせを配慮しています。内外の研修 には非常勤職員も参加できる体制になっています。園内研修として、 「熱性けいれんとダイアップについて」「嘔吐処理」などをテーマに 行い、非常勤職員も参加しています。
- ・非常勤職員とは、クラス担当職員とコミュニケーションを良く取る ようにしています。園長が非常勤職員と面談し、保育内容の確認や意 見を把握する機会を設けています。
- ・今年度は、系列園の研修発表会や、他園実地研修に参加しています が、外部研修の参加はできませんでした。

<コメント・提言>

・横浜市や大学、保育関連機関主催などの外部研修参加の機会が増え ることが期待されます。

Ⅴ-2 職員の技術の向上





- ・設置法人の園長会、南区の園長会での報告事例をもとに、職員会 議・昼のミーティングで話し合い、サービスの向上に努めています。 療育センターからの指導、助言を受けています。南図書館職員の読み 聞かせについてのアドバイスも受けました。
- ・年間指導計画、月案、週案にそれぞれ評価反省の欄があり、定型化 された書式となっています。子どもの育ちや意欲、活動への取り組み を重視して、振り返りを行うようにしています。場合により園長が視 点や書き方の助言・指導をしています。
- ・クラス担当職員間で、評価反省を行い、昼のミーティングで話し合 い、翌週・翌月の計画をたてています。職員会議では、月案、年間計 画についての話し合いをしています。職員会議、第三者評価の取り組 みの話し合いから、園としての課題を明らかにするように努めていま
- 一年間の反省、まとめについて保護者会で話をすることはあります が、自己評価として公表はしていません。

<コメント・提言>

・今後、保育園としての自己評価を工夫して公表することが期待され ます。

V - 3持





- ・職員会議、昼のミーティング、面談などで改善提案を募るほか、日 常的な会話からも意見を募っています。
- ・常日頃から話がしやすいようにしています。個別の面接を行い、仕 事内容などの満足度や要望を聞いています。

評価の理由(コメント)

Ⅵ-1 経営における社会的責任





・「保育園業務マニュアル」「就業規則」に職員の守るべき倫理、服 務規程を明文化して全職員に周知しています。

設置法人は作成配付している、倫理、規程が書かれた「CREDO」 カードを全員所持しており、折りに触れ、読み直すように心がけてい ます。設置法人にコンプライアンス委員会を設置し、不正があった場 合の連絡先等を更衣室に掲示し、直接通報できる仕組みを職員に周知 しています。

- ・設置法人持ち株会社のホームページで、決算見込み書、運営状況に ついて公開しています。
- ・設置法人園長会、南区園長会、新聞報道、ニュースなどで得た、他 施設での不適切事例などを職員会議で取り上げ、話し合いをしていま す。職員の意見、レポートをまとめ、設置法人に提出することもして います。
- ・ゴミ減量化、リサイクル分別を行い、プラスチックトレイ、牛乳 パックやトイレットペーパーの芯などを利用し、手作りおもちゃや製 作に利用しています。ペーパータオルやティシュペーパーを取りすぎ ないようにしています。節電、節水に努めていますが、環境への取り 組みの明文化されたものはありません。

<コメント・提言>

・環境への取り組みを明文化し、運営に活かすとともに、子どもや保 護者に向けて啓発していくことが期待されます。

主任の役割等



- **Ⅵ-2 施設長のリーダーシップ・・**理念、基本方針、園目標を園内に掲示し、職員には年度初めに理 念、基本方針が書かれた「重要事項説明書」を配付しています。園長 は、職員会議、昼のミーティングで理念や基本方針に基づいた保育に ついての話をして、日常の保育の中で、確認をするようにしていま
 - ・保育内容、行事の変更、今年度は「子ども子育て新制度」について 職員会議で職員に説明しています。保護者にはクラス懇談会、園便 り、園内掲示で知らせています。重要な意思決定を行う場合は、園 長、職員、栄養士、エリアマネージャ、設置法人管理課など、組織を あげて取り組む体制となっています。
 - ・園長が主任業務を担っています。各クラスを見回り、個々の職員の 業務状況を把握しています。またリーダー2名が主任の業務の補助を 行っており、園長と連携をとりながら、シフト編成や職員配置などを 担っています。
 - ・園長がクラスの保育に入り、個々の職員の様子を見ながら、指導や 助言をしています。職員に声を掛け、話を良く聞く事を心がけていま す。心身の状態に気を配り、負担が多くならないよう配慮していま

VI - 3効率的な運営



- ・事業運営に影響のある情報は設置法人で収集・分析をしています。 園では、園長が設置法人の園長会議、南区園長会議や、行政機関から 情報を収集しています。
- ・重要な情報は設置法人の園長会議で話し合われています。園長が持 ち帰り、職員会議で報告しています。改善課題については、職員会 議、昼のミーティングで話し合い、職員に周知し、保育所全体の取り 組みとしています。
- ・運営、サービスプロセスの新たなしくみは設置法人で検討していま
- ・次代の施設運営に備えて、設置法人が後継者育成の計画を作ってい ます。園では園長がリーダー職員に業務分担を行い、育成に努めてい ます。
- ・設置法人は運営について、関連機関、大学、行政、労務などの専門 機関から意見を取り入れています。

利用者家族アンケート

施設名:アスクいどがや保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数 99名、全保護者 80家族を対象とし、回答は47家族からあり、回収率は 59%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態で評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

肯定的な回答は94%(満足47%、どちらかといえば満足47%)と高い評価を得ており、否定的な回答は6%(どちらかといえば不満4%、不満2%)でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

- 1)あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては、98%の肯定的回答(満足70%・どちらかといえば満足28%)を得ています。
- 2) お子さんが給食を楽しんでいるかについては、98%の肯定的回答(満足72%・どちらかといえば満足26%)を得ています。
- 3)基本的生活習慣の自立に向けての取り組みについては、98%の肯定的回答(満足57%・どちらかといえば満足41%)を得ています。
- 4)入園時の面接などで、、お子さんの様子や生育歴等を聞く対応については、98%の肯定的回答 (満足60%・どちらかといえば満足38%)を得ています。
- 5)あなたのお子さんが大切にされているかについて96%の肯定的回答(満足66%・どちらかといえば満足30%)を得ています。

◇ 比較的満足度の低い項目

- 1)地域に触れたり地域に関わるなどの園外活動については、26%の否定的回答(どちらかといえば不満20%・不満6%)があります。
- 2)送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については、25%の否定的回答(どちらかといえば不満19%・不満6%)があります。
- 3)外部からの不審者侵入を防ぐ対策については、25%の否定的回答(どちらかといえば不満11%・ 不満9%)があります。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	_	まあ知って いる			まったく知ら ない	無回答
	11%	51%	13%	17%	6%	2%

□ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同		まあ賛同で きる		あまり賛同 できない	賛同できな い	無回答
	69%	31%	0%	0%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
	62%	27%	0%	0%	9%	2%
見学の受け入れについては	その他:新設	で見学できす	0			
入園前の見学や説明など、園からの	45%	43%	6%	2%	2%	2%
情報提供については	その他:					
園の目標や方針についての説明には	43%	45%	6%	0%	4%	2%
	その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様	60%	38%	2%	0%	0%	0%
子や生育歴などを聞く対応については	その他:					
保育園での1日の過ごし方について	58%	32%	6%	0%	4%	0%
の説明には	その他:					
費用やきまりに関する説明について は	34%	47%	11%	2%	4%	2%
(入園後に食い違いがなかったかを 含めて)	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

1.4 - H. 1.4 - H.	NO N							
	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答		
年間の保育や行事についての説明に	32%	51%	11%	4%	0%	2%		
は	その他:							
年間の保育や行事に、保護者の要望	28%	47%	17%	2%	4%	2%		
が活かされているかについては	その他:							

問4 <u>日常の保育内容について</u>

遊びについて	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては	51%	43%	2%	4%	0%	0%
(お子さんが満足しているかなど)	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	47%	34%	6%	13%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置	51%	43%	2%	2%	2%	0%
いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど	40%	32%	20%	6%	2%	0%
の、園外活動については	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関	53%	34%	9%	4%	0%	0%
近いを通じて及たって保育者との関 わりが十分もてているかについては	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	47%	39%	6%	4%	4%	0%
	その他:					

生活について	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答		
	69%	23%	4%	0%	4%	0%		
給食の献立内容については 	その他:							
お子さんが給食を楽しんでいるかに ついては	72%	26%	0%	0%	2%	0%		
	その他:							
基本的生活習慣(衣服の着脱、手洗	57%	41%	0%	0%	0%	2%		
いなど)の自立に向けての取り組みについては	その他:							
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ	60%	32%	4%	2%	2%	0%		
て対応されているかなどについては	その他:							
おむつはずしは、家庭と協力し、お	57%	37%	0%	0%	4%	2%		
子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	その他:まだ	、始めていな	い。おむつが	外れてから入	園した。			
お子さんの体調への気配りについて	57%	37%	6%	0%	0%	0%		
お子さんの体調への気配りについて は	その他:							
保育中にあったケガに関する保護者	51%	26%	17%	6%	0%	0%		
休月中にあったグガに関する休護有への説明やその後の対応には	その他:							

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	53%	37%	6%	0%	4%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲 気については	55%	36%	9%	0%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策に	28%	48%	11%	9%	4%	0%
ついては	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの 情報提供については	40%	43%	13%	4%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

HO MICKELLUZIO ZONICE	no <u>図に体践者にの足形。 </u>							
	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答		
保護者懇談会や個別面談などによる	34%	37%	21%	4%	4%	0%		
話し合いの機会については	その他:							
園だよりや掲示などによる、園の様 スや行車に関する情報担供について	47%	40%	11%	2%	0%	0%		
子や行事に関する情報提供については	その他:		-					
園の行事の開催日や時間帯への配慮 については	47%	38%	9%	4%	0%	2%		
	その他:							
送り迎えの際のお子さんの様子に関	36%	39%	19%	6%	0%	0%		
する情報交換については	その他:							
お子さんに関する重要な情報の連絡	43%	45%	6%	4%	2%	0%		
体制については	その他:							
	43%	49%	2%	4%	2%	0%		
保護者からの相談事への対応には	その他:							
開所時間内であれば柔軟に対応して くれるなど、残業などで迎えが遅く	68%	22%	2%	0%	6%	2%		
くれるなど、残果などで迎えが遅くなる場合の対応には	その他:							

問7 職員の対応について

	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされてい	66%	30%	2%	0%	2%	0%
るかについては	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽 しんでいるかについては	70%	28%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害の	64%	26%	0%	0%	6%	4%
あるお子さんへの配慮については	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかど	53%	37%	6%	2%	2%	0%
うかについては	その他:					
意見や要望への対応については	43%	47%	6%	4%	0%	0%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	無回答
総合満足度は	47%	47%	4%	2%	0%

観察方式による利用者本人調査

平成 28 年 3 月 18 日 · 22 日

事業所名:アスクいどがや保育園

【0 歳児】

<園庭遊び>

屋上園庭に行くために玄関で運動靴を履いています。「こえ (これ)」と調査員に自慢げに靴を見せてくれる子どももいます。先に履けた子どもは隅に集合して別の担任と "だるまさん"や "糸巻き"など手遊びをして待っています。「手すり、にぎにぎだよ」「じゅんばんこ」と注意をしながら屋上までの階段はゆっくり慎重に上ります。外はぽかぽか陽気で、職員が作るシャボン玉が風に乗って行きます。子どもたちは目をキラキラ輝かせながらトコトコと追いかけます。遠くに飛んでしまったシャボン玉を指さし「あっ、いったった (行ってしまった)」と見つめています。上空を飛ぶへリコプターにも手を振っています。

<給食>

職員が食欲旺盛な子どもたちに「おいしそうに食べてくれると先生もうれしいな」と声をかけます。昼食前に眠くなり、ほんの少し横になっていた子どもも目を覚まして、頬張って食べています。機嫌が悪くなってしまった子どもは落ち着くまで職員が抱っこをしてあやしています。スプーンを使って食べる子どもや手づかみで食べる子どもなど、自由に食べています。職員が時々スプーンで口に運ぶなど援助しています。食物アレルギーで除去のある子どもは一人一人別テーブルで職員が傍で見守っています。

<午睡>

食事を食べ終わった子どもは、保育室につながっている乳児用トイレで排泄を試みた後職員に着替えさせてもらい、布団に入ります。子どもたちは職員にからだをトントンしてもらったり、さすってもらったりして眠りに入っています。なかなか眠れない子どもは布団の上でコロコロしたり、先に寝てしまった子どもの頭をそっとさわったりしていますが、職員の誘いでトントンしてもらいながら眠りについています。

【1 歳児】

<英語教室>

専任講師が笑顔で子どもたちに話しかけます。子どもたちもリラックスした様子でバンザイをしたり、床を叩いたり、講師のジェスチャーに合わせて同じ動

作をしています。「ホット!」と言いながら手で扇ぐ講師の模倣をして、同じ様に子どもたちも「ホット!」と言葉をまね、パタパタと扇ぐように手を動かしています。終了時には講師とハグをし、「バイ バ~イ!」と手を振っています。

<クッキング>

調理室から小松菜が届き、子どもたちは小松菜ちぎりのお手伝いをします。「みんながちぎった小松菜は 今日のおにぎりの中身になるんだよ」「ちっちゃく ちっちゃく」「赤ちゃんも食べるからね このくらい 小さくしよう」と職員が見本を示します。「〇〇くん 上手! ちょうどいいよ」「茎は ポキポキしようね」ちぎりながら小松菜の匂いをかいでいる子どももいます。

送りに来た保護者も、しばらく笑顔で子どもたちの様子を眺めていました。

<排泄・着脱>

生活の区切りで「おトイレに行こうね」と職員に誘われると、子どもたちは 自分でズボンを脱ごうと頑張りますが、なかなか脱げません。職員がちょっと だけ手助けして膝のところまでズボンを下ろすと、座り込んで脱いでみたり腰 をかがめてぬぐなど、それぞれに工夫して自分で脱ぎ、トイレに座っています。

ジーッと、おしっこが出るのを見入っている子もいます。おむつが濡れていた子どももトイレが楽しくて座っています。職員が「〇〇ちゃん おしっこないね~ またこんどね」と言葉をかけ、着脱のコーナーへ誘っています。

【2 歳児】

<鼠庭遊び>

砂場の周囲に座ります。隙間が狭くて座れない子どもがいると「どうぞって少しつめてあげようね」と職員が両側の子どもに優しく話しています。「今日は砂を乾かしているから遊びません。眺めたり、見学はかまいませんよ。小さい子が遊んでいるからぶつからないように気をつけましょう」と注意を聞いた後は、子どもたちは一斉に駈け出します。同じ目線上にある京急電車や道路下を往く車に「バイバイ」をしています。すべり台ハウスで昇ったり降りたり、もぐりこんだりしています。

<給食>

子どもたちは「ほら あれ (壁に展示したひな祭り製作) 作ったんだよ」「ぼくね おうちでもお野菜た一くさん食べてるよ」と調査員に教えてくれます。職員は子どもたちに「〇〇くん おはし上手だね」「〇〇ちゃん お皿ピカピカにできるかな」など、話しかけています。子どもたちがある程度食べたところを見計らって、職員は「おはしからスプーンに替えてもいいよ」と言いながら席をまわります。「ぼくね、まだおはしで頑張るからスプーンはいい」と頼もしい返事があります。「すごいね。でも無理しないでね」と職員はさりげなく伝え

ています。

<歯みがき指導>

全員が給食を食べ終わるまでの間、先にごちそうさまをした子どもはトイレに行ったり、絵本を読んで過ごしています。「いっこ かして〜」「は〜い」「ありがと〜」と絵本を 2 冊持っていた子どもが 1 冊渡しています。歯みがきは椅子に座って行います。職員が手作りの人形を使って「上の歯」「下の歯」と順番にお手本を示しています。子どもたちは自分で磨いています。最後は職員が一人一人の仕上げ磨きをしていきます。

【3 歳児】

<園庭遊び>

トイレットペーパー芯を縦割りにし、スズランテープをつけた子どもたちの製作品を腕につけて駆け回るとスズランテープがひらひらと風になびきます。「きれいね」と調査員が声をかけると子どもは少し得意気な笑みを見せ、また駈け出しています。

缶ポックリ(プラスチック製)で起用に遊ぶ子どももいます。転んで泣いている子どもに職員が「走ってて ぶつかっちゃったのかな?」と言葉をかけ寄り添っています。しばらくして落ち着いたところで、職員が「さっきと今と どっちが痛い?」と聞くと「さっき」と子どもは答えました。職員が「じゃあ ちょっと良くなったかな」と問いかけると、子どもはコックンとうなずいています。

<食事>

今日の当番が、おかずの乗った皿などを皆に配っています。調査員が座ったテーブルの子どもたちが「これから歌を歌って ご挨拶をしたら食べはじめるよ」「おかわりもできるよ」「今日はパンだけど ごはんの時が多いよ」「歌の後に いただきますを言うよ」と次々と教えてくれます。保育室内の時計の文字盤の横には数字が貼ってあります。職員が「今日のごちそうさまは、時計の5の数字の所です。5のところは5分です」と説明しています。食前の挨拶のあとすぐに、子どもが何人も配膳テーブルに、お皿や茶碗を持って行き、食前に、自分で食べられる分量に減らしてもらっています。「自分で減らす量が分かるの?」と調査員が聞くと、「うん そうだよ おいしく食べられるし もっと欲しければおかわりもできるんだよ」と説明してくれました。

子どもたちは同じテーブルの友だちと色々な話をしながら、楽しそうに食

事をしています。時々職員が、「お体 曲がってきているよ」「お口に入れた まま おしゃべりしないでね」などマナーの注意をしています。

食後は、自分で食器を片づけ、手を洗い終わると、自分の椅子を壁際に並べて、絵本を読んでいます。全員が食べ終わると、それぞれの歯ブラシを配り、職員が歯磨きのやり方や注意点を話しながら、一緒に磨いています。

【4 歳児】

<園庭(屋上)遊び>

職員から遊ぶときの注意点を聞いた後、子どもたちはそれぞれ好きな遊びを始めます。砂場に向かう子ども、縄跳びを持ち出す子ども、友だちとかけっこや鬼ごっこを始めるグループもあり、元気いっぱいで駆け回っています。雨が続き、砂が十分渇かず、水が染み出している所を見つけた子どもが靴でぐちゅぐちゅやり始めると、数人の子どもたちが集まってきて、同じ様にぐちゅぐちゅ ぐちゅぐちゅ 面白そうに感触を楽しんでいます。

縄跳びをやっている子は、「みて みて! 早くできるよ」「後ろとびもできるよ」と調査員に見せてくれました。「すごいね おうちでも練習したの?」と聞くと、照れくさそうです。

かけっこをしていた子どもたちから「リレー やりたい」との声が上がりました。職員がジョウロに水を汲んで、楕円のコースを描き、2組のチームに分かれての競争が始まりました。順番を待っている子たちは一斉に「◇◇ちゃん がんばれー!」「いけ いけ~!」「○○ちゃん ガンバレ~!」と応援しています。

<食事>

お当番の子どもが調査員のところに来て、「お食事の用意が出来ました一緒に来てください」と部屋まで案内してくれました。「ここだよ」「こっちに座るんだよ」と他の子ともたちも声を掛けてくれます。

食前の挨拶のあと、職員は時計を指さして「今日のおかわりは 時計の4の所までです」と子どもたちに説明しています。子どもたちは、にぎやかにお話を楽しみながら食事をしています。トレイやテーブルに、少し食べ物をこぼしてしまったときは、自分でペーパータオルを取りに行き、きれいに拭いています。

時計の針が数字の4 に近づくと、誰かが「もう少しで4のところだ!」と言いました。急いで食べておかわりをする子どももいます。おかわりは、自分で好きなものを選んでよそっています。

【4、5歳児】

<卒園式の練習>

数日後の卒園式の練習をしています。

5歳児の後ろに4歳児の椅子が並べられています。4歳児は背筋を伸ばし、少々緊張気味のようです。しっかり、5歳児のやる事を見ていたり、歌やセリフのやり取りに一生懸命です。5歳児は、返事や歩き方もピシッと決まっています。

5歳児退場で廊下に出ると、一気に緊張が解けたのか「あ~ 言葉を言うところを間違えたよ」「ちょっとちがったみたい」「どうしよう まちがった」「歌の歌詞も違ったよ 先生」とにぎやかです。職員は「そうだね ちょっと違ったところあったね 本番はうまくいくよね」と子どもたちを励ましています。

<夕方の活動>

5歳児はランチルームに移動して、キーボードに合わせて皆で歌を歌っています。春の歌を次々にうたい、「今度はチューリップいってみよう」の職員の声に、大きな声で皆歌い始めましたが、2番となると、だんだん声が小さくなってしまいます。職員がフレーズの言葉を先に誘導していくと、また声が揃ってきます。「もうすぐ小学校に行くから 一年生の歌をやってみようね 準備 いいかな?」皆、張り切って歌い始め、体を揺らしたり、リズムをとったりしながら、楽しそうです。

「帰りの会」では、1歳児クラスで一日を過ごした子どもたちに「1歳さんのクラスはみんな どうだった?」と職員が聞いています。「机が低かった」「何でも小さく思った」「昔 使ってた」「部屋 間違って入っちゃう」などの声があがります。職員が「1歳さんの時に お部屋使っていたお友だちもいるね お隣は 0歳さんのお部屋だから、あまり大きな声を出すとびっくりしちゃうからね これまでみんなが使ってたお部屋は 4歳さんが使っています みんなはあと少しで一年生になります」と説明すると、うれしそうに笑顔を見せる子どもや少しさびしそうだったり、緊張した表情の子どもたちです。

H27年度第三者評価事業者コメント(アスクいどがや保育園)

【受審の動機】

利用者の皆様のご意見を真摯に受け止め、職員一人ひとりが自身の保育について考えることのできる良い機会だと考え、毎年受審しております

また、運営本部としましても、客観的に評価していただいたことに関しては継続して取り組み、改善すべきことに関しては対策することで、より良い運営ができればと考えております。

【受審した結果】

職員一人ひとりが保育を見直し、園の目指す方向や理念を再確認できたことで、今後努力すべき点が明確になったことは大きな収穫でした。

利用者アンケートで肯定的な回答が 94%と高い評価を得ていることで、日々試行錯誤の 努力や工夫が結果となって表れていると感じ、大変ありがたく思います。

今後も、評価いただいた園外活動を熱心に行うこと、クラスノートの工夫、職員の連携 と協力体制については継続して更に良いものにできるようにしてまいります。

また、改善が必要とされた、保護者への園の取り組みアピールについては、伝達方法を 工夫し、考えます。また、保護者の方から日常の中での細かなご要望等も記録にすること で、当園の理念である「利用者のニーズに合った保育サービスを提供」することを目指し てまいります。

今後も、保育の質の向上を目指し、また保護者との信頼関係を築いていけるように努めてまいります。

最後に、今回の受審にあたって、利用者調査にご協力をいただいた保護者の皆様、ご尽力 頂いた評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。